

# 平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 日立電線日高工場日高体育館

【女子の部】 第1日目 Iコート 第4試合

チームA <b>三田尻女子</b> 山口	<b>83</b>	{	15 1Q 10	<b>36</b>	チームB <b>和歌山信愛女子短大附</b> 和歌山
22 2Q 10					
			21 3Q 10		
			25 4Q 6		
			OT		

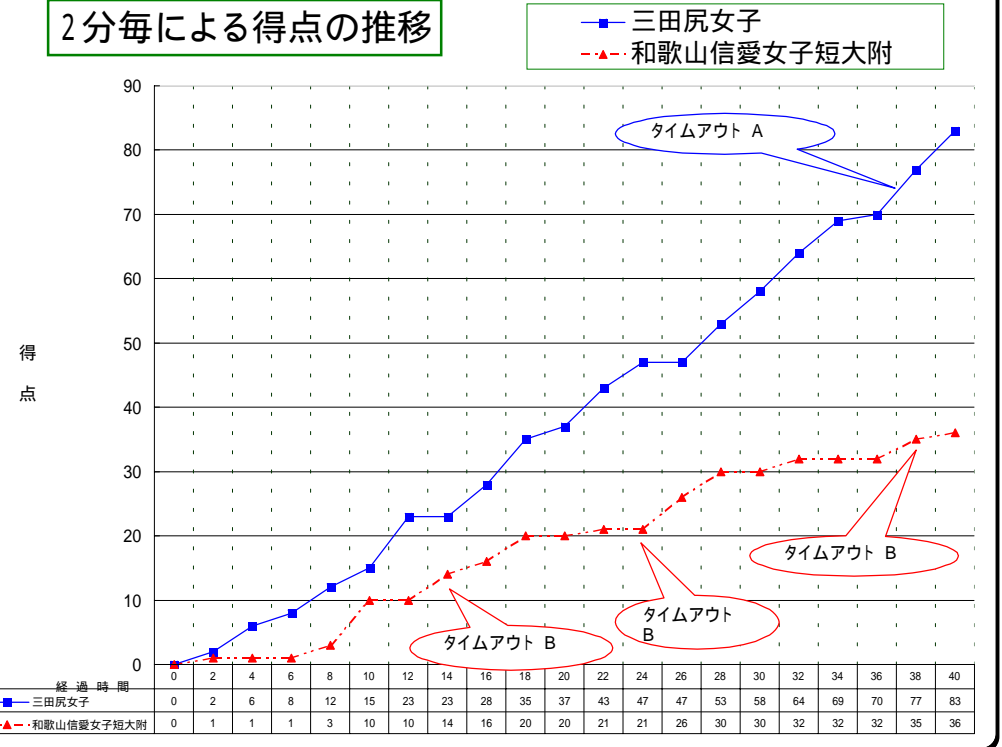
## 三田尻女子

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	木南 瑠衣	9	1	2	3	3	0	0	0	1	1	5	2	1	1	25
5	稗田 奈央	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	2	5	0	15
6	寺本 里絵	9	0	0	4	7	1	2	5	3	2	0	2	1	1	18
7	須江 恵梨佳	17	5	18	1	1	0	0	2	0	2	1	1	1	0	17
8	植田 千賀子	21	2	5	6	12	3	4	0	4	0	5	3	1	1	23
9	濱本 薫	4	0	0	1	1	2	4	1	3	1	0	0	0	4	22
10	兼國 真美	6	0	1	3	8	0	0	3	0	2	0	1	1	2	23
11	内田このみ	7	1	1	2	3	0	0	0	2	0	0	1	1	0	8
12	釜崎 渚	2	0	1	1	3	0	0	0	0	2	0	2	0	0	5
13	高崎ひとみ	4	0	5	2	6	0	2	1	3	4	1	2	0	2	29
14	井上 亜美															DNP
15	山根友里恵	2	0	0	1	1	0	0	3	0	0	1	1	2	0	15
コーチ	小松 徹								0							
		83	9	33	25	48	6	12	15	16	14	14	17	13	11	200
		確率	27.3%	52.1%	50.0%				計	30						

## 和歌山信愛女子短大附

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田中 智子	7	1	3	2	5	0	0	3	1	3	3	0	2	0	24
5	加古 寛子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	5
6	林 亜紀子	7	1	2	2	2	0	0	3	0	5	3	3	0	0	24
7	南川 利恵	1	0	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	22
8	巖 麗麗	1	0	0	0	0	1	3	1	1	2	3	0	0	1	16
9	池田 綾奈	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
10	西川 香里	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2
11	林 美冬里	6	1	2	0	1	3	4	1	1	0	2	0	0	0	26
12	松本 千秋	8	0	1	2	5	4	4	4	0	2	9	0	4	0	32
13	田上 りさ	2	0	0	1	2	0	0	0	1	2	4	0	0	1	21
14	竹中 雅	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
15	小阪智亜希	4	0	0	2	3	0	0	2	1	0	1	1	0	0	18
コーチ	宮本 浩次								0							
		36	3	10	9	19	9	13	17	5	16	33	7	6	2	200
		確率	30.0%	47.4%	69.2%				計	21						

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

第1P三田尻のハーフコートマンツーマンに対して、和歌山は3-2ゾーンでゲームがスタートする。序盤両チームとも堅さからシュートが決まらないでいたが、第1P2分、三田尻は#10兼國の速攻からのシュートを機に、#6寺本の連続シュートなど着実に得点を重ねる。これに対し和歌山はなかなか堅さがとれず、第1P残り2分によろやく#6林(亜)の連続シュートなどで5点差まで追いつける。

第2P開始直後、三田尻は#6寺本、#10兼國がオフェンスリバウンドからのシュートを連続で決めリズムをつかむと、#4木南の連続シュートなどで点差を広げる。和歌山も#4田中の速攻を機に追い上げるが、第2P残り2分、三田尻は#8植田のポストプレーによるシュートを決めるなど再び点差を広げ37対20と三田尻が17点リードで第2Pを終了する。

第3Pも、三田尻は、#8植田の活躍で波に乗るが、ファールを重ねてしまう。和歌山はフリースローを決め、点差を縮めるが、三田尻#13高崎に連続して3Pシュートを決められ、追い上げもそこまで。

第4Pも三田尻#7須江が連続して3Pシュートを決めるなどゲームを支配する。和歌山は最後まで波に乗れず、83対36で三田尻が勝利を収める。

主審 粟田充伯

副審 深畑和歌子

記入者 湯原秀